

玄米の被害調査結果

令和2年産米の斑点米率は、全地域で平年より高かった（図1）。

玄米の被害状況から推測された主な加害種は、中通りでは大型カメムシ（主にホソハリカメムシとクモヘリカメムシ）、会津がカスミカメ類、浜通りが大型カメムシ（主にクモヘリカメムシ）だった（表1）。

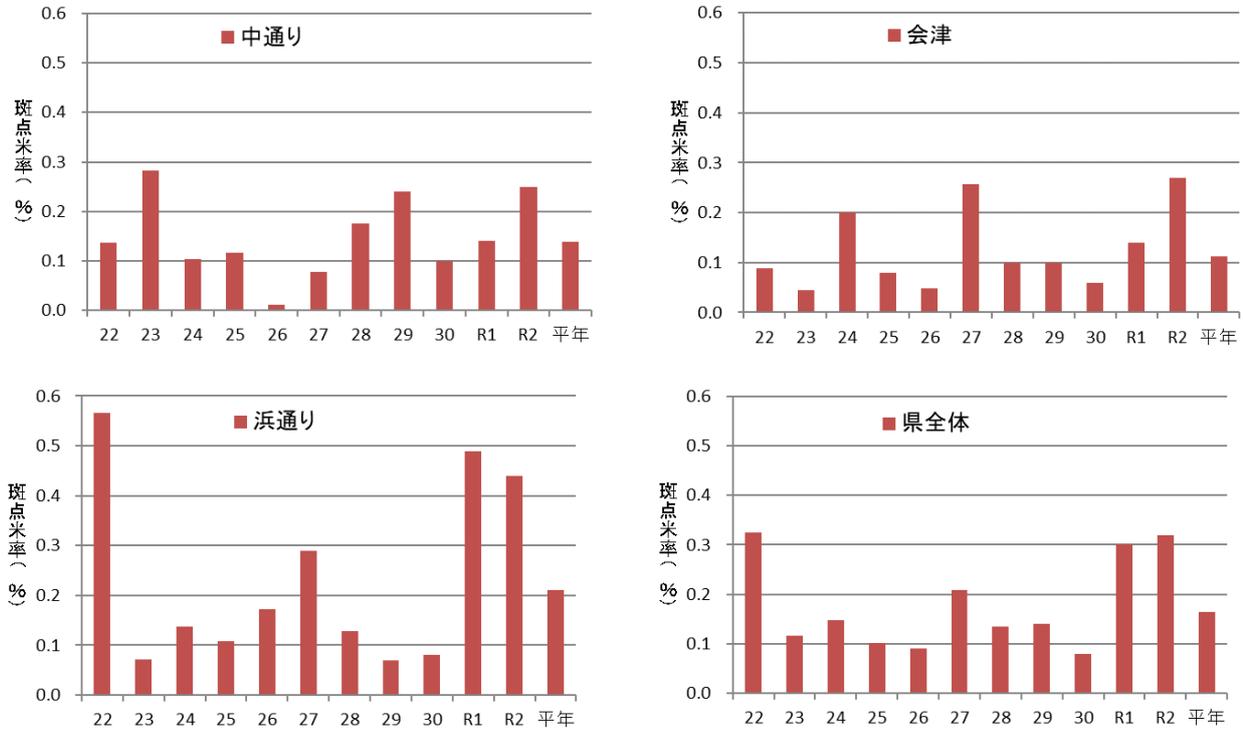


図1 地域別斑点米発生率の年次的推移

表1 玄米の被害状況から推測された斑点米の加害種割合

	カスミカメ類 (%)	大型カメムシ類 (%)
中通り	36.0	64.0
会津	77.8	22.2
浜通り	11.6	88.4
県全体	33.3	66.7

※調査サンプル数・・・中通り5、会津4、浜通り5